

大教生に「学生総合共済」が おすすめる理由

大教生こそ、「学生総合共済」に加入して欲しいのです。

大学生になるとほとんどの人が高校時代と比べて行動範囲・行動時間が大幅に広がります。そこで発生するのが事故(ケガ)と病気です。気をつけて生活していても、自分が遭遇してしまう可能性はゼロではありません。自分に全く落ち度がなくとも、「もらい事故(ケガ)」に遭遇する可能性はあるので、注意が必要です。

そして、大教生に限って言えば、「活動が活発」ということがポイントです。他と比べて多めの体育の授業、各種の実習、地域や学校・子ども達へのボランティア、盛んなクラブ・サークル活動、通学に多い原付バイク・自転車。アクティブな大学生生活を送っているのは、素晴らしい大教生ですが、それゆえ、大教生は事故(ケガ)や病気に遭遇してしまう可能性が高まってしまいます。

また、給付件数が多い理由に、CO・OP 学生総合共済が「大学生の生活に合わせた確かな保障」という点も上げられます。

加入者数に対する給付件数率

上位5大学(全国211大学中)[給付件数÷加入者数]

2017～2020年度

順位	所属大学
1	A 大学(北海道の私立大学)
2	B 教育大学(関東)
3	C 大学(関西の私立大学)
4	大阪教育大学
5	D 教育大学(東海)

2018年～2021年度

順位	所属大学
1	B 教育大学(関東)
2	A 大学(北海道の私立大学)
3	C 大学(関西の私立大学)
4	大阪教育大学
5	D 教育大学(東海)

左表は、全国211大学の給付率(給付件数÷加入者数)の上位5大学です。上述の通り、大教生の給付率は非常に高く、全国211大学で上から4番目に高い数値です。

また、上位5大学に、教育大学が3大学も入っていることから、やはり「教育大学生」は活動が活発で、その分、事故(ケガ)や病気に遭遇してしまう可能性が高いことを示しているとも受け取れます。

大学生の生活に合わせて軽微なケガも保障

大きな事故だけでなく、体育やクラブ・サークル中の「ねんざ」や「打撲」は勿論、「突き指」、「爪がはがれた」でも、(とにかく、不慮の事故なら)医療機関を受診すると、1日目から通院保障(日額2,000円)が保障されます。大学生の生活に合わせた安心の保障です。

2024年度は、新入生生協組合員のうち、69%以上 (821人中 570人) が学生総合共済に加入しています！

[※授業開始前日の2024年4月10日現在]

お申込方法等はP36～P39をご覧ください。



お問い合わせは ☎ 0120-86-9419
(又はTEL:072-976-3636) [平日10:00～17:00]
<https://ok.u-coop.net/welcome/>

学内で給付の相談ができるので安心

民間の保険と生協の保障制度の最大の違い!とも言えます。それは「大学内(柏原キャンパス)で給付申請の手続きが可能」なことです。

給付申請の必要書類も、学校に来たついでに学内の生協の共済カウンターに立ち寄って記入するだけ。なにかあっても学内で相談できる、というのが最大の特色。忙しい学生生活に寄り添った保障制度です。

手続きカンタン / 給付申請の流れ

- 1 生協へ連絡、相談をする 病気やケガなどをしたら早めに生協へ
- 2 必要な書類を受け取る その場で病気やケガの状況を聞き取りし、必要な書類をお渡します
- 3 領収証(書)や書類を提出する 治療が終わったら早めに書類を郵送してください
- 4 審査後、共済金をお支払いします 必要書類を提出すると、所定の日数以内に給付されます

自宅からでも
お手続きOK

キャンパスに通学しない時期でも、コープ共済センターから、各種お手続き・共済金請求ができます。

先輩からメッセージ

共済おすすめの言葉、 感謝の言葉



教育協働学科
卒業生
池本 早希さん

私は2回生の3月ごろ、大学で部活(卓球)の練習をしているときに右肩を捻挫してしまい、共済金の給付を受けました。初めて肩を負傷し、右腕を使えない生活が2週間ほど続き、とても不便な生活を送っていました。当時、試合を控えていたことから早く完治し、練習に復帰するために週2回治療に通っていたため経済的にもかなり痛い出費でした。そのため、入学時に共済に加入していて本当によかったと思っています。部活やサークル等でのケガはもちろんですが、大学生になると行動範囲が広がることで通学時等のケガのリスクも増加します。様々なことにチャレンジする大学生活を安心して送るための「お守り」として、共済の加入をお勧めします。

【通院12日共済金24,000円】

ここが知りたい! 学生総合共済Q&A

Q 健康に自信があるので
加入しなくて大丈夫かも?

A 行動範囲・行動時間が大幅に広がる
大学生生活では様々なリスクがあります

健康体が自慢であっても、防ぎようのない不慮の事故もあります。実際に大教生は多くの方が給付を受けています。(P17上段もご覧ください。)

Q 「保険」は好きでは
ないのです。

A 「学生総合共済」は保険とは
異なります。

最終的には営業利益の確保が必要な会社組織と異なり、「学生総合共済」は「学生どうしのたすけあい制度」です。自分が困ったら周りがたすけてくれ、周りの誰かが困ったら自分も含めた他の加入者達がたすける、そういった全国の大学生達のたすけあい制度の輪に、是非入っていただきたいと思います。

Q 大学で案内された傷害保険と
重複するのでは?

A 保険の補償内容をご確認のうえ
学生総合共済の加入をご検討ください

大学の「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」の詳しい補償内容については、大学の担当窓口へお問い合わせください。特に「正課外」「海外」などでも保障対象になるかは必ずご確認ください。

重要ポイント

【「定額給付」が嬉しい【CO・OP 学生総合共済】】

「医療費実費」を保障する保険では、健康保険を適用して通院した場合、そこで実際に支払った「医療費」しか保障されません。一方、「学生総合共済」の場合、例えばケガ通院なら定額で日額 2,000 円が保障されます。「医療費実費」だけではまかなえない「病院への交通費」「ケガで休んだアルバイト代」などに充当できます。また嬉しいことに、他の保険金を受け取っていても、「CO・OP 学生総合共済」の共済金の請求手続きはできます。

お申込方法等はP36～P39をご覧ください。



お問い合わせは ☎ 0120-86-9419
(又はTEL: 072-976-3636) [平日10:00~17:00]
<https://ok.u-coop.net/welcome/>